

2009年5月21日の国会内集会に向けた議員賛同、メッセージ等一覧

(賛同を求めた項目)

1. 制度廃止に追い込まれている自主共済を救済するため、経過措置期間の延長・遡及適用など、実効ある措置を早急に講ずること。
2. 自主共済を保険業法の適用除外とし、広範な共済加入者と国民に安心を与えること。

(敬称略・順不同)

No.	衆・参	政党	議員名	賛同	メッセージ
1	衆	自民	田村 憲久		本日の国会内集会のご盛会心よりお喜び申し上げます。会員相互の扶助により運営していくこの制度を今後形が変わろうとも、皆様の一層のご尽力により、引き継がれていくことを祈念致します。
2	衆	自民	広津 素子	○	
3	衆	民主	池田 元久	○	
4	衆	民主	加藤 公一	○	健全な自主共済の存続に向けた皆さまのご尽力に敬意を表します。本日は、集会への参加が叶わずたいへん申し訳ありません。私も公正(フェア)な共済制度の確立に向けて国会で取り組んでまいりたいと思います。
5	衆	民主	郡 和子	○	
6	衆	民主	下条 みつ	○	自主共済の救済の為、経過措置期間の延長などの措置に対して、そして、それぞれ長く、大変役立っている自主共済を保険適用除外とするべく、徹底的に運動して参ります。皆さんも、一緒に頑張りましょう！
7	衆	民主	高井 美穂	○	共済の今日と未来を考える懇話会、ご盛会のこととお喜び申し上げます。これからの社会にあって、助け合いの精神の大切さ、国民が何らかの形で、ボランティアに参加する、まさにそのような時代こそ、自主共済、相互扶助の制度は極めて大切です。国民参加の機会を支える大切な制度です。ともに、実効のある救済の為に、頑張りましょう。
8	衆	民主	中井 治	○	
9	衆	民主	中川 正春	○	
10	衆	民主	西村 智奈美	○	
11	衆	民主	牧 義夫	○	
12	衆	民主	松本 大輔	○	厳しい環境の中、さまざまな分野でご活躍の皆様に敬意と感謝の意を表します。さて、改正保険業法は、本来詐欺行為から利用者を保護することが目的であったにもかかわらず、社会的意義を有する共済までもが、廃業に追い込まれるといった事態が生じています。このような状況は、特定のニーズに対応した商品を求める消費者等に不利益を及ぼすものであり、看過できるものではありません。社会的に有意義な自主共済存続に向け、皆様と力を合わせて全力でがんばってまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。結びに、本日御参集の皆様のご健勝とご多幸をお祈り致します。
13	衆	民主	森本 哲生	○	出席予定でしたが、他の公務が入りお許し下さい。共に頑張りましょう。
14	衆	民主	山田 正彦	○	
15	衆	民主	横光 克彦	○	
16	衆	民主	和田 隆志	○	皆様のご主張のように、一律に保険業法で規制することは日本の現状にそぐわないと思います。ともに頑張りましょう！
17	参	民主	大河原 雅子	○	

18	参	民主	大久保 勉	○	「たらいの水と一緒に赤子を流すな」ということわざがありますが、現状はまさにこれが当てはまります。本来違法行為を排除することが目的だった保険業法の改正なのに、長い間真面目にやってきた自主共済が廃業に追いこまれるなど、本末転倒です。参議院財政金融委員会理事として、責任をもって対処していきます。
19	参	民主	加賀谷 健	○	皆様方の日頃のご活動に敬意を表します。適用除外は限定列挙では必要な対応はできず、基準を改正すべきと考えます。ボランティア活動を社会に根づかせ、広めていくためにも、ともに力を合わせてまいります。
20	参	民主	円 より子	○	
21	参	民主	高橋 千秋	○	お世話になっております。当日日程がたてこんでおりますので参加出来ますかどうか調整中です。当日の判断になりますことも了解お願い申し上げます。
22	衆	共産	志位 和夫	○	ご苦労様です。様々な団体や地域のなかで、かけがいのない役割を果たしてきた自主共済の存続とその豊かな発展のために、自主共済の保険事業法適用除外を求めるみなさんと力を合わせ頑張ってください。
23	衆	共産	赤嶺 政賢	○	貴会が、自主共済の救済のための実効ある措置、保険業法の適用除外など、自主共済の存続のために、ご尽力されていることに対して、心から敬意を表します。貴会の切実な要求が早期に実現できるように、みなさんとともに、国に強く要求していきたいと思っております。そのために全力をあげる決意です。ご一緒に頑張りましょう。院内集会のご案内をいただきましたが、日程の都合により出席できません。大変申し訳ありません。
24	衆	共産	石井 郁子	○	保険業法の適用除外を求める5・21集会の盛会を祈っています。みなさんの行っている自主共済は存続させるべきです。それを廃止に追いこむことは許されません。自主共済の保険業法適用除外を求めるみなさんの運動と連携し頑張る所存です。当日は文科委理事懇と重なり、参加できず残念です。
25	衆	共産	佐々木 憲昭	○	多くの団体が実施してきた共済や互助会には長い歴史があり、各団体や地域の中で重要な役割を果たしています。健全に営まれている自主共済の運営が廃止に追い込まれる事態は許しがたいことです。政府、金融庁は、これまでの大臣答弁に従い健全な運営を行う自主共済が存続できるよう早急に対応するべきです。自主的な共済制度が存続し豊かに発展できるよう、自主共済の保険業法適用除外を求める皆さまの運動と連携し、国会において引き続き政府を追及していきます。
26	衆	共産	笠井 亮	○	保険業法の適用除外を求める5・21国会内集会メッセージ集会にご参加のみなさんに心からの敬意とともに、熱い連絡のあいさつをおくります。みなさんが、非営利・助け合い・ボランティアで運営し、会員同士助け合ってきた自主共済を保険業法の対象にするのは全くの不当です。自主共済を守り、存続させていくためにも、私もがんばります。
27	衆	共産	高橋 千鶴子	○	

28	参	共産	大門 実紀史	○	保険業法適用除外を求める国会内集会へのメッセージ 皆様の日頃のご奮闘に経緯を評します。助け合いの精神で発展してきた自主的な共済は、本来、保険業法による規制の対象とすべきではありません。皆さまのねばり強い活動により、世論と運動が広がり、与野党を超えて賛同者も広がっています。今後も、全ての自主共済ふあ、保険業法の適用除外となるよう、皆様と力を合わせて取り組んで生きたいと思っております。
29	参	共産	紙 智子	○	構成員の福利・厚生や助け合いを目的に、非営利、ボランティアで運営されてきた共済制度や互助制度が廃業に追い込まれることを避けるために、経過措置の延長とともに、適用除外を早期に実現することが必要です。貧困の拡大が進む中で、大切な「助け合い」を潰さないために、全力をつくします。ともにがんばりましょう。
30	参	共産	市田 忠義	○	
31	参	共産	小池 晃	○	みなさんが「助け合い」で自主的に行っている共済を新保険業法の適用除外とさせ、自主的な共済を健全に運営できるよう応援します。
32	参	共産	井上 哲士	○	助けあいの精神で健全に運営されてきた自主共済が存続できるよう、力をあわせて参ります。
33	参	国民新	亀井 亜紀子	○	
34	参	国民新	森田 高	○	